

人・地球・水環境

月刊下水道

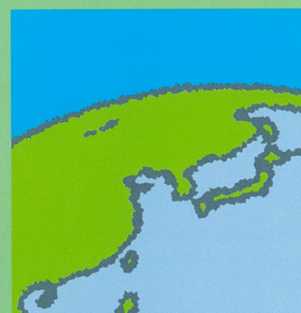
JOURNAL OF SEWERAGE, MONTHLY

September, 2026

9

VOL.49 No.11

特集 国際化する下水道・海外展開



■環境技術士に
NEXTチャレンジ!
閉鎖性水域の
水質汚濁



■ 特別企画

水の官民連携のいま

FFT工法協会：

第35回定時総会を開催

ハイレイズ工法製造工場認定を取得

FFT工法協会は6月25日、東京・港区の品川プリンスホテルにて第35回定時総会を開催した。

同協会は2025年度、下水道展'25大阪への出展のほか、デモ施工や説明会を各地で行った。また下水道管路更生管理技士一次試験オンライン事前勉強会、技術研修や取付管口穿孔技士研修会、オンライン安全研修等の開催、各資料等の整備を行った。

施工実績はFFT-S工法が116.3km（累計1,913.3km）、ストリング工法が1,034.6m（同13,721.7m）、会員数は3月末時点で511社。

2026年度はこれら活動のほか広報普及活動なども継続して行っていく方針。

このほかに新規入会の理事会承認規定等の改訂案などを含め、すべての議案が承認された。

総会冒頭の挨拶で濱口則和会長は「新しく光硬化型のハイレイズ工法を導入し、昨年10月に製造工場認定を取得した。当協会は熱硬化型、大口径ストリング工法、そして光硬化型と3種の工法を適材適所で選定できる協会として、さらなる発展に努めたい」などと語った。



濱口会長